

組合まつりで

業界PRビデオを上映

ACTIVE KUMIAI

上野原機械器具工業協同組合

上野原機械器具工業協同組合(小俣精三理事長)は、3月7日アイメッセ山梨において開催された「中小企業組合まつり」に初出展し、業界のPRを行った。

当日は、組合執行部により、業界PRビデオの上映と組合員企業の紹介パンフの配布が行われた。終日雨の降るあいにくの天気であったが、来場者は例年を上回り、巨大スクリーンが目



大型スクリーンで業界をPR

昭和29年に設立された当組合のある上野原市は、かつて農業による蚕、繭の一大産地であり、繭をブランドの「甲斐絹」に加工する製糸工業が盛んとなり、それらの製品を全国へ供給する問屋・小売りなど商業が発達した。まさに農・商・工一体となって上野原の地域経済を支えられてきた。当組合の原点は、その中で、手織り機械から動力による織機へと進化の中で、織機の修理を担った鉄工所から始まった。

以上の歴史背景からPRビデオ製作には、上野原商工会も賛同、全面協力を得られ、更に収録、編集には地元ケーブルテレビが担当したため、業界の止まらず上野原全体の物づくり産業の歴史からはじまり、最新の製作機械を備える組合員企業の紹介など完成度の高い仕上がりととなり、今回の出展により広く県民にPRすることができた。

昨今の経済環境から特に厳しい業界ではあるが、現在組合では、人材確保推進事業に取り組み、組合員企業の労働環境の整備により人材確保に効果を上げている。

今後物づくりの原点を忘れず、地域経済への貢献を目指し、積極的に事業展開して行きたいとしている。



来場者で賑わう屋内会場